

毎週日曜発行
2019 5/12

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

② 平成生まれはどう思う？

元号が「令和」に変わり、30年間続いた「平成」が終わったね。平成生まれのみんなは、自分たちが生まれた時代の終わりをどう感じたかな？ かほピョンは宮城県内の小中学生5人に聞いてみたよ。

「最初に元号が変わると聞いた時、『平成って変わるものなの？』と驚いた。それから改元のニュースを見るようになり、時代が変わること

つ経験できるのは楽しみ」と笑顔を見せました。



同市仙台青陵中等教育学校1年の上山大輔君(12)は「始まりがあれば終わりがあがる。終わりは

1989年1月7日、元号「平成」を発表する小淵恵三官房長官(当時)



スタートでもあり、新しい時代を頑張るとき。栗原市栗駒中2年菅原愛さん(13)も「平成の終わりは、さびしいようれしい。新しい時代が始まるから」と前向き

に受け止めていました。平成に起きた出来事で印象に残っていることを聞くと、5人中4人が東日本大震災を挙げました。当時、幼稚園年長だった仙台市五橋中3年の

榎森菜奈乃さん(14)は「すごく大きな揺れを経験したことを覚えていて」と振り返りました。「震災から何年もたつのに、今も大変な生活をしている人がいる。自分

は前と変わらない生活ができていないことに感謝したい。被害が大きかった地域は早く復興してほしい」と願いました。



「令和をどんな時代にしたいですか」と聞くと、それぞれ抱負を語ってくれました。大崎市岩出山中3年の大沼望希也君(14)は「平和で楽しい時代になってほしい。自分たちが新しい歴史をつくる」と力強く答えました。

平成生まれのかほピョンは平成が終わることをさびしく感じていたけれど、みんなから元気をもたらされたよ。新しい時代もいい時代にしていこう！

これにちは、令和

を意識するようになった

こう話す仙台市泉ヶ丘小5年工藤理樹君(11)は2008年(平成20年)生まれ。4年生の時に2分の1成人式を経験したそうです。「大人になるまで平成と令和を半分ず

新時代始まり「うれしい」

きょうの紙面

2 イマ★どき

3 3分チャレンジ

4・5 いいね 小学校

6 英語

7 かほくワークシート

8 書ポコン①

今週の注目ニュース

◇12日(日) おおずもろ 大相撲夏場所(～26日、東京・両国国技館)

元号が「令和」になって初めての本場所だよ。春場所42回目の優勝を果たした白鵬関や、大関に昇進した貴景勝関の戦いぶりが注目されるね。

◇15日(水) アメリカの海兵隊音楽隊が公演(横浜市)

アメリカで最も古い軍の音楽隊が165年ぶりに日本で演奏するよ。日米和親条約が結ばれた1854年、海軍提督のペリーと来日し横浜で式典に参加したんだ。